1　　相応のふるまい　　　　　　歴史的仮名遣い・文節・単語

ある人、ゑのこをいといたはりけるにや、その主人外より帰りける時、かのゑのこ、その膝に登り、胸に手をあげ、口のほとりを舐りまはる。これによつて、主人愛することいやましなり。馬ほのかにこの由を見て、うらやましくや思ひけむ、「ａあつぱれ我もｂかやうにこそし侍らめ」とｃ思ひさだめて、ある時、主人外より帰りける時、馬、主人の胸にとびかかり、顔を舐り、尾を振りてなどしければ、主人これを見てはなはだ怒りをなし、ぼうをおつ取つて、もとの厩におし入れける。

そのごとく、人の親疎をわきまへず、わがかたより馳走顔こそはなはだｄもつてをかしきことなれ。わが程々に従つて、その挨拶をなすべきなり。

【本文チェック】

①　ａ～ｄを、ひらがなで現代仮名遣いに改めて書きなさい。

　ａ（　　　　　　）　　ｂ（　　　　　　）

　ｃ（　　　　　　）　　ｄ（　　　　　　）

②文中の、ゑのこ・主人・馬をすべて□で囲み、登場人物を確認しなさい。

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

＊〔数字〕は本文での行数を表す。

１　いたはる〔１〕　①（病気で）苦しむ

　　　　　　　　　　②（　　　　　　　）

２　由〔３〕　　　　①由緒　　②理由

　　　　　　　　　　③（事の）（　　　　　　　）

３　あつぱれ〔３〕（　　　　　　　　　　）

４　程〔８〕　　　　①身分　　②様子

　　　　　　　　　　③時　　　④所

　　　　　　　　　　⑤（程々）（　　　　　　　）

問２　次の傍線部の意味として、現代語訳に入る最も適当なものを選べ。

１　その里に、いとなまめいたる女はらからすみけり。（伊勢物語）

　　その里に、（　　　）若々しく美しい姉妹が住んでいた。

　ア　ますます　　イ　とても

　ウ　それほど　　エ　少し

　（　　　）

２　、「をかし」と思ひて、笑ひてやみにけり。（今昔物語集）

　　妻は、「（　　　）」と思って、笑って終わった。

　ア　趣深い　　イ　かわいい

　ウ　だ　　エ　珍しい

　（　　　）

３　かやうに、御心を互ひに慰め給ふほどに、（竹取物語）

　　（　　　）、お心を互いにお慰めするうちに、

　ア　このように　　イ　こんなに

　ウ　どのように　　エ　どれだけ

　（　　　）

【文法力 ✚】

問３　ア行・ヤ行・ワ行の表を完成させよ。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ワ行 | ヤ行 | ア行 |  |
|  |  |  | ア段 |
|  |  |  | イ段 |
|  |  |  | ウ段 |
|  |  |  | エ段 |
|  |  |  | オ段 |

問４　次の語を、ひらがなで現代仮名遣いに改めよ。

１　かへりみる　　（　　　　　　　　　　　　）

２　めづらし　　　（　　　　　　　　　　　　）

３　ゐならぶ　　　（　　　　　　　　　　　　）

４　えうなし　　　（　　　　　　　　　　　　）

５　ゑみ　　　　　（　　　　　　　　　　　　）

６　くわじ　　　　（　　　　　　　　　　　　）

【探究】

問５　馬は自分も主人にかわいがられようとして、子犬のまねをした。周りに、目上の人に特に気に入られている人物がいるとして、あなたならその様子についてどう思うか。

ア　特に何も思わない。

イ　うらやましく思う。

ウ　なぜそうなのか考える。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ａ＝あっぱれ　ｂ＝かよう　ｃ＝おもい　ｄ＝もって

②　ゑのこ　〔１〕（２か所）

　　主人　〔１・２・４（２か所）・５〕

　　馬　〔３・４〕

問１　１＝かわいがる　２＝次第　３＝ああ　４＝身の程

問２　１＝イ　２＝ウ　３＝ア

問３　（ア行）　あ ｜ い ｜ う ｜ え ｜ お

　　　（ヤ行）　や ｜ い ｜ ゆ ｜ え ｜ よ

　　　（ワ行）　わ ｜ ゐ ｜ う ｜ ゑ ｜ を

問４　１＝かえりみる　２＝めずらし　３＝いならぶ

　　　４＝ようなし　　５＝えみ　　　６＝かじ

問５　（例）ウ　目上の人に気に入られるに越したことはないので、理由を知って参考にしたいから。

　　観点　理由を答える際は、文末を「～から」で終わるようにする。また、イ・ウを選んだ場合は、他の選択肢との違いに注意して答える。

【現代語訳】

問２　１　その里に、とても若々しく美しい姉妹が住んでいた。

　　　２　妻は、「滑稽だ」と思って、笑って終わった。

　　　３　このように、お心を互いにお慰めするうちに、